

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23404	保育の基礎講座 Introduction to Nursing	高木 都奈子	専門	2	選択	1 年後期
科目の概要						
小児の栄養を考える時、保育の現場について理解することは、重要なことであると考え。乳幼児期の実際の生活を見ること、特徴を知ることにより、広く理解ができるように、意識を深める。保育施設や保育者の役割、援助の方法などを学修する。						
学修内容			到達目標			
① 乳幼児の生活文化、食文化を理解する。 ② 乳幼児の特徴、「保育」の意味を考える。 ③ 保育関連の施設を知る。 ④ 保育者の役割、援助の方法を学ぶ。 ⑤ 食育の意味、重要性を考える。			① 乳幼児の生活文化、食文化を具体的に理解する。 ② 心身の発達の特徴をふまえ、「養護と教育」を理解する。 ③ 保育関連の施設の実態を理解する。 ④ 「かかわる、うけとめる」など保育用語を覚える。 ⑤ 食育の意味、重要性を知ることが出来たか確認する。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題や次回の授業内容の提示に対し、主旨を受け止め、進んで取り組み、さらに課題を分析するのに必要な知識についてテキストや文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	一度決めたことは最後までやりきることができる。				
考え抜く力	課題発見力	現代の子育て状況を理解し、課題を見極めることができる。				
	計画力					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループ発表の際聞き手に分かりやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)話すポイントが整理され発表できる。				
	傾聴力	グループワークで人の意見を受容し、さらに自分の意見を述べる事ができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る事ができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
参考文献: 保育原理、小児栄養、食物アレルギーの基礎と対応						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: 栄養教育実習、栄養士学外教育実習指導、食物アレルギーの医学・基礎と対応 資格との関連: 栄養士						
学修上の助言			受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> 講義ノートは細目にとり、配布プリントと共に整理し、まとめておくこと 講義中に小テストをするので、欠席の場合、減点対象となる 			<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の成長に関わる大人(人的環境)としての自覚を持ち授業に臨むこと。・授業中の私語は周囲の迷惑となるので慎むこと。携帯電話は電源を切りカバンの中に入れておくこと。 各週授業終了後シラバスに記載されている予習・復習内容を指示されなくても各自ノートに記述しておくこと。(記述していない場合は減点対象) 			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を理解できているか確認する。 ・出題範囲は、各時点までの授業で学修した内容とする。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
レポート	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育」に関する課題。広く調べて自分なりの言葉でまとめる能力を評価する。 ・小課題を複数回、出題する。実施時期、テーマは授業中に指示をする。 ・まとめレポートについて タイトル 後日連絡 提出日 最終講義
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・各回の内容について、理解度を確認するために成果発表を行う。グループ討議のメモ用紙(3点)、プレゼンテーションの成果(7点) ・1分間の発表。 ・表現の仕方、説明の明瞭さを評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) 課題等の主旨を捉え、進んで取組み自己学修ができたか評価する (実行力) 決めたことは最後までやりきることができたか評価する (課題発見力) 現代の子育て状況の理解から課題を見極められたか評価する (創造力) 他者と活動する中で多角的に物事を考えることができたか評価する (発信力) 相手に分かりやすい、話しのポイント、方法ができていないか評価する (傾聴力) グループ活動の際意見を述べる事ができるか評価する (規律性) 授業が円滑に進行するようルールを守る事ができたか評価する
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他		①		<ul style="list-style-type: none"> ・無断欠席、遅刻、私語、居眠り等講義に支障をきたす場合減点とする(学修意欲欠如、課題や提出物(ノート)の未提出等含む) ・社会人基礎力(学修態度)より10点減点とする
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100		✓	レポート、毎回の授業態度、授業中の質問(小テスト)の成績を総合評価する

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達レベルに加え、 S:社会人基礎力のうち7修得できている。 A:社会人基礎力が6修得できている。 ①「保育」の意味をよく理解し、説明ができる。 ②乳幼児の心身の発達および保育方法が説明できる。 ③食育で育てたい力(幼児期の食育の目標)が理解し、説明ができる。 ④食育は、知育・徳育・体育の基礎であるという意味を理解し、説明ができる。	到達レベルに加え、 B:社会人基礎力のうち4修得できている。 C:社会人基礎力のうち2修得できている。 ①「保育」の意味が理解できている。 ②乳幼児の心身の発達および保育方法を、理解しようと努力する態度がある。 ③幼児期の食育の目標が理解できている。 ④食育は栄養教育ではないという意味を理解できている。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 / 1週	オリエンテーション 授業の目的、進め方などの 説明・食育と保育について 学修する。	講義 ・オリエンテーション	食育と保育の意味、繋 がり記述できる。	プリント① (予習)「保育所・幼稚園の 歴史」	90	主体性 傾聴力
2週 / 2週	保育所・幼稚園の歴史を学 ぶ 保育所保育指針・幼稚園教 育要領について学修する。	講義 ・グループ活動(グルー プ活動のメモ書きを提 出) ・前週の講義内容をフ ィードバックする。	保育所・幼稚園の歴史 を学び、違いについて 記述できる。	(予習)・授業で渡したプリ ントを読む。 (保育所保育指針・幼稚園 教育要領の目的を調べる) (復習)保育所と幼稚園の 違いを調べる	90	主体性 実行力
3週 / 3週	保育の意義と社会的責任に ついて学修する。	講義 ・グループ活動 ・前週の講義内容をフ ィードバックする。	養護と教育の一体性、 乳幼児の発達過程に 応じた保育について記 述できる。 保育園見学の視点が 記述できる。	プリント②「養護と教育の一 体性」 (予習)「養護と教育の一体 性」養護と教育について自 己の表現でまとめる (復習)保育の意義・社会 的責任について考えをまと める。	90	課題発 見力 実行力
4週 / 4週	子ども理解① 保育の現場を見学し、保育 について学修する。 献立表をみて保育園の食事 について学修する。	演習 ・保育園見学	保育園見学を通して日 常の生活、遊び、食事 などの保育内容が理解 できる。	プリント③・「献立表」 (予習)献立表を見て気づ いた事を5点まとめる。 (復習)保育園見学観記録 を記述する。	90	課題発 見力
5週 / 5週	子ども理解② 子どもの遊びと文化を知る。	講義 ・グループ討議 結果提出 ・前々週の講義内容を フィードバックする。	前週で学んだ内容を念 頭に伝承遊び・児童文 化が子どもにとってどの ような良い影響がある のか自己の考えをまと めることができる。	プリント④・育てたい「食 べる力」について (予習)配布プリントを読 み、子どもが食べたいと思 える環境を3つ考える (復習)翌週小テストを行う ので覚える。	90	傾聴力 発信力
6週 / 6週	園生活の1日の流れと保育 者の役割を考える。	講義 ・グループ活動 ・小テスト ・前週の講義内容をフ ィードバックする。	「保育は過程である」 この言葉の意味を自分 の言葉で記述できる。	プリント⑤ ・「園の日課表」 (予習)日課表を見て気づ いたことを5点まとめる。 (復習)まとめのレポートの サブタイトルを考える	90	主体性
7週 / 7週	保育の方法・環境① 自然環境 野菜づくりの意 味、大切さを考えてみる。	講義 ・グループ活動 (グループ討議のメモ 書きを提出 ・前週の講義内容をフ ィードバックする。	子どもの心身の発達と 自然環境の関係述べる ことができる。	(予習)10月中旬頃の田畑 で栽培されている野菜を5 つまとめる。 (復習) まとめのレポートの構成を 考える。	90	傾聴力 発信力
8週 / 8週	保育の方法・環境② 人的環境・物的環境とは何 か、意味を理解する。	講義 ・グループ活動 (グループ討議のメモ 書きを提出) ・前週の講義内容をフ ィードバックする。	乳幼児にとっての人的 (大人)環境の根拠が 分かり記述する。	(予習)保育所保育指針の 環境の項目を事前に配布 するので読み参加するこ と。 (復習)まとめのレポートの 内容を考える。	90	主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	保育所職員の専門性① 栄養士も保育者の一人であることを学修する。	講義 DVD視聴 1歳児 ・前週の講義内容をフィードバックする。	保育所職員の専門性と倫理観、乳幼児のかかわりが分かり、記述することができる。	(予習)プリント⑤「幼児期に育つもの」を読んでおく。保育所保育指針の職員の専門性についての資料を配布するので読んでくる。 (復習)DVD視聴でメモをとり、保育者の一人として関わり方を記述し提出する。	90	課題発見力
10週 /	保育所職員の専門性② 衛生面について確認する。	講義 ・グループ活動 ・前週の講義内容をフィードバックする。	感染症や食中毒など子どもへのわかり易い伝え方を工夫することができる。	(予習)感染症もしくは食中毒の種類を調べ、子どもへの語りかける際の原稿を作る。 (復習)小テストをするので覚えてくる。	90	傾聴力 発信力
11週 /	保育所職員の専門性③ 食育、献立について意見交換する。	講義 小テスト グループ活動 ・前週の講義内容をフィードバックする。	「楽しい食事とは」について意見交換、家庭での食事をイメージして参加することができる。 2歳児のDVD視聴をする。	(予習)「楽しい食事」について考えをまとめ記述してくる。 (復習)2歳児DVD視聴のメモをとり、保育者の一人として関わり方をノートに記述する。	90	傾聴力 発信力
12週 /	保護者に対する支援① 施設見学をする。	演習 ・グループ活動 観察記録提出。	「楽しい食事とは」を視点として給食を観察し考察できる。	プリント⑥ ・「施設の概要」を配布する。 (予習)保育所における食事の提供の意義を調べる。 (復習)「楽しい食事」にする為給食における望ましい人的・物的環境を考察しノートに記述する。	90	主体性 実行力
13週 /	保護者に対する支援② 父親・母親の保育責任を考える。	講義 ・グループ活動 ・前週の講義内容をフィードバックする。	子ども・子育て支援新制度について述べることができる。	プリント⑦ ・「子どもの発達課題と家庭教育のテーマ」 (予習)プリントを読んでくる・保護者の保育責任についての記事・話題を探す。 (復習)保護者支援の必要性をノートに記述する。	90	発信力 傾聴力
14週 /	諸外国の食事と保育 「20の国のごはん」の中から2～3の国の食事を調べてみる。	講義 グループ活動 報告文提出 ・前週の講義内容をフィードバックする。	食を中心に諸外国と日本の違いについて述べるができる。	(予習)2～3の国の食事を調べてくる。 (復習)・学んだ事をふまえて提出レポートに取り組む。	90	課題発見力
15週 /	まとめ 「乳幼児の食生活」についてレポートの仕上げをする。	講義 ・レポート作成 レポート提出 ・14週間の講義内容をフィードバックする。	「乳幼児の食生活」について解ったこと、考えたことなどを記述する。	(予習)ミニレポートの構成を考えておく。	90	主体性 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力